

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成20年6月26日(2008.6.26)

【公表番号】特表2008-500205(P2008-500205A)

【公表日】平成20年1月10日(2008.1.10)

【年通号数】公開・登録公報2008-001

【出願番号】特願2007-515247(P2007-515247)

【国際特許分類】

**B 3 2 B 5/24 (2006.01)**

**B 3 2 B 27/30 (2006.01)**

**A 6 2 B 17/00 (2006.01)**

【F I】

B 3 2 B 5/24 1 0 1

B 3 2 B 27/30 D

A 6 2 B 17/00

【手続補正書】

【提出日】平成20年5月9日(2008.5.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

少なくとも 1 つの微孔質フィルム、及び

そこに取り付けられた機能層を含む防護被覆であって、少なくとも 1 つの微孔質フィルムが疎油性である、空気透過性を有する防護被覆。

【請求項 2】

少なくとも 1 つの微孔質フィルムが延伸ポリテトラフルオロエチレン ( e P T F E ) を含む、請求項 1 に記載の防護被覆。

【請求項 3】

少なくとも 1 つの微孔質フィルムが、フルオロアクリレート、フッ素化ポリエーテル、フルオロウレタン、フルオロシリコン及び非晶質フルオロポリマーから選択される少なくとも 1 種の材料を含む疎油性被膜を含んでなる、請求項 1 又は 2 のいずれかに記載の防護被覆。

【請求項 4】

前記微孔質 e P T F E フィルムが、フルオロアクリレート、フッ素化ポリエーテル、フルオロウレタン、フルオロシリコン及び非晶質フルオロポリマーから選択される少なくとも 1 種の材料を含む疎油性被膜を含んでなる、請求項 2 又は 3 のいずれかに記載の防護被覆。

【請求項 5】

少なくとも 1 つの微孔質フィルムのオイル等級が 4 以上である、請求項 1 ～ 4 のいずれか 1 つに記載の防護被覆。

【請求項 6】

前記機能層が前記少なくとも 1 つの微孔質フィルムに不連続のアタッチメントによって取り付けられている、請求項 1 ～ 5 のいずれか 1 つに記載の防護被覆。

【請求項 7】

少なくとも 1 つの微孔質フィルムが前記機能層に不連続の接着剤によって取り付けられ

ている、請求項 1 ~ 6 のいずれか 1 つに記載の防護被覆。

【請求項 8】

前記機能層が吸着機能性材料を含む、請求項 1 ~ 7 のいずれか 1 つに記載の防護被覆。

【請求項 9】

前記吸着機能性材料が活性炭を含む、請求項 8 に記載の防護被覆。

【請求項 10】

前記機能性材料が、吸着性及び反応性材料から選択される少なくとも 1 種の他の材料を含む、請求項 8 又は 9 のいずれかに記載の防護被覆。

【請求項 11】

前記機能層がさらに活性炭を含む編物布地シートを含んでなる、請求項 8 ~ 10 のいずれか 1 つに記載の防護被覆。

【請求項 12】

前記機能層がさらに活性炭を含む連続気泡フォームを含んでなる、請求項 8 ~ 10 のいずれか 1 つに記載の防護被覆。

【請求項 13】

前記機能層が活性炭を  $200 \text{ g} / \text{m}^2$  未満含む、請求項 8 ~ 12 のいずれか 1 つに記載の防護被覆。

【請求項 14】

シエル布帛及び裏当て材料から選択される少なくとも 1 種の追加材料をさらに含む、請求項 1 ~ 13 のいずれか 1 つに記載の防護被覆。

【請求項 15】

前記防護被覆のガーレー数が 120 秒未満である、請求項 1 ~ 14 のいずれか 1 つに記載の防護被覆。

【請求項 16】

前記防護被覆の M V T R が  $4000 \text{ g} / \text{m}^2 / \text{日}$  より大きい、請求項 1 に記載の防護被覆。

【請求項 17】

前記防護被覆の M V T R が  $2000 \text{ g} / \text{m}^2 / \text{日}$  より大きい、請求項 14 に記載の防護被覆。

【請求項 18】

第 1 及び第 2 の微孔質フィルム、及び

その間に含まれる活性炭含有シートを含んでなる機能層を含む防護被覆であって、120 ガーレー秒未満の空気透過性を有する防護被覆。

【請求項 19】

前記微孔質フィルムの少なくとも 1 つが延伸ポリテトラフルオロエチレン ( e P T F E ) を含む、請求項 18 に記載の防護被覆。

【請求項 20】

前記活性炭含有シートが少なくとも 1 つの微孔質フィルムに不連続のアタッチメントによって取り付けられている、請求項 18 又は 19 のいずれかに記載の防護被覆。

【請求項 21】

少なくとも 1 つの微孔質フィルムが前記機能層に不連続の接着剤によって取り付けられている、請求項 18 ~ 20 のいずれか 1 つに記載の防護被覆。

【請求項 22】

前記機能層が、吸着性及び反応性材料から選択される少なくとも 1 種の他の機能性材料を含む、請求項 18 ~ 21 のいずれか 1 つに記載の防護被覆。

【請求項 23】

前記活性炭含有シートが編物布地シートを含む、請求項 18 ~ 22 のいずれか 1 つに記載の防護被覆。

【請求項 24】

前記活性炭含有シートがフォームを含む、請求項 18 ~ 22 のいずれか 1 つに記載の防

護被覆。

【請求項 25】

前記機能層が活性炭を  $200 \text{ g} / \text{m}^2$  未満含む、請求項 18 ~ 24 のいずれか 1 つに記載の防護被覆。

【請求項 26】

シェル布帛及び裏当て材料から選択される少なくとも 1 種の追加材料をさらに含む、請求項 18 ~ 25 のいずれか 1 つに記載の防護被覆。

【請求項 27】

水蒸気透過量が  $4000 \text{ g} / \text{m}^2 / \text{日}$  より大きい、請求項 18 ~ 26 のいずれか 1 つに記載の防護被覆。

【請求項 28】

前記機能層が活性炭を  $100 \text{ g} / \text{m}^2$  未満含む、請求項 18 ~ 27 のいずれか 1 つに記載の防護被覆。

【請求項 29】

第 1 及び第 2 の微孔質フィルム、及び  
その間に含まれる機能層を含む防護被覆であって、少なくとも 1 つの微孔質フィルムが疎油性である、空気透過性を有する防護被覆。

【請求項 30】

少なくとも 1 つの微孔質フィルムが延伸ポリテトラフルオロエチレン ( e P T F E ) を含む、請求項 29 に記載の防護被覆。

【請求項 31】

少なくとも 1 つの微孔質フィルムが、フルオロアクリレート、フッ素化ポリエーテル、フルオロウレタン、フルオロシリコン及び非晶質フルオロポリマーから選択される少なくとも 1 種の材料を含む疎油性被膜を含んでなる、請求項 29 又は 30 のいずれかに記載の防護被覆。

【請求項 32】

少なくとも 1 つの e P T F E フィルムが、フルオロアクリレート、フッ素化ポリエーテル、フルオロウレタン、フルオロシリコン及び非晶質フルオロポリマーから選択される少なくとも 1 種の材料を含む疎油性被膜を含んでなる、請求項 30 又は 31 のいずれかに記載の防護被覆。

【請求項 33】

少なくとも 1 つの微孔質フィルムのオイル等級が 4 以上である、請求項 29 ~ 32 のいずれか 1 つに記載の防護被覆。

【請求項 34】

前記機能層が少なくとも 1 つの微孔質フィルムに不連続のアタッチメントによって取り付けられている、請求項 29 ~ 33 のいずれか 1 つに記載の防護被覆。

【請求項 35】

少なくとも 1 つの微孔質フィルムが前記機能層に不連続の接着剤によって取り付けられている、請求項 29 ~ 34 のいずれか 1 つに記載の防護被覆。

【請求項 36】

前記機能層が吸着機能性材料を含む、請求項 29 ~ 35 のいずれか 1 つに記載の防護被覆。

【請求項 37】

前記吸着機能性材料が活性炭を含む、請求項 36 に記載の防護被覆。

【請求項 38】

前記機能性材料が、吸着性及び反応性材料から選択される少なくとも 1 種の他の材料をさらに含む、請求項 36 又は 37 のいずれかに記載の防護被覆。

【請求項 39】

前記機能層がさらに活性炭を含む編物布地シートを含んでなる、請求項 29 ~ 38 のいずれか 1 つに記載の防護被覆。

## 【請求項 40】

前記機能層がさらに活性炭を含む連続気泡フォームを含んでなる、請求項 29 ~ 38 のいずれか 1 つに記載の防護被覆。

## 【請求項 41】

前記機能層が活性炭を  $200 \text{ g} / \text{m}^2$  未満含む、請求項 37 ~ 40 のいずれか 1 つに記載の防護被覆。

## 【請求項 42】

シェル布帛及び裏当て材料から選択される少なくとも 1 種の追加材料をさらに含む、請求項 29 ~ 41 のいずれか 1 つに記載の防護被覆。

## 【請求項 43】

前記防護被覆のガーレー数が 120 秒未満である、請求項 29 ~ 42 のいずれか 1 つに記載の防護被覆。

## 【請求項 44】

前記防護被覆の M V T R が  $4000 \text{ g} / \text{m}^2 / \text{日}$  より大きい、請求項 29 ~ 43 のいずれか 1 つに記載の防護被覆。

## 【請求項 45】

疎油性微孔質フィルムを有する防護被覆面をディーゼル燃料で汚染した後の 2 C E S 透過量が  $50 \mu \text{g} / \text{cm}^2$  未満である、請求項 29 ~ 44 のいずれか 1 つに記載の防護被覆。

## 【請求項 46】

疎油性微孔質フィルムを有する防護被覆面を皮脂で汚染した後の 2 C E S 透過量が  $20 \mu \text{g} / \text{cm}^2$  未満である、請求項 29 ~ 44 のいずれか 1 つに記載の防護被覆。

## 【請求項 47】

6 回の洗濯 / 乾燥サイクル後の 2 C E S 透過量が  $20 \mu \text{g} / \text{cm}^2$  未満である、請求項 29 ~ 44 のいずれか 1 つに記載の防護被覆。

## 【請求項 48】

第 1 及び第 2 の疎油性微孔質フィルム、及び

その間に含まれる活性炭含有シートを含む防護被覆であって、活性炭を  $200 \text{ g} / \text{m}^2$  未満含む、ガーレー数が 120 秒未満の空気透過性を有する防護被覆。

## 【請求項 49】

前記第 1 及び第 2 の微孔質フィルムが延伸ポリテトラフルオロエチレン ( e P T F E ) を含む、請求項 48 に記載の防護被覆。

## 【請求項 50】

前記活性炭含有シートが前記微孔質フィルムに接着剤で接着されている、請求項 48 又は 49 のいずれかに記載の防護被覆。

## 【請求項 51】

少なくとも 1 つの微孔質フィルムのオイル等級が 4 以上である、請求項 48 ~ 50 のいずれか 1 つに記載の防護被覆。

## 【請求項 52】

前記第 1 及び第 2 の疎油性微孔質フィルムのオイル等級が 4 以上である、請求項 48 ~ 51 のいずれか 1 つに記載の防護被覆。

## 【請求項 53】

前記活性炭含有シートが炭素を  $150 \text{ g} / \text{m}^2$  未満含む、請求項 48 ~ 52 のいずれか 1 つに記載の防護被覆。

## 【請求項 54】

前記活性炭含有シートが、吸着性及び反応性材料から選択される少なくとも 1 種の追加材料をさらに含む、請求項 48 ~ 53 のいずれか 1 つに記載の防護被覆。

## 【請求項 55】

前記活性炭含有シートが編物布地を含む、請求項 48 ~ 54 のいずれか 1 つに記載の防護被覆。

**【請求項 5 6】**

前記活性炭含有シートが連続気泡フォームを含む、請求項 4 8 ~ 5 4 のいずれか 1 つ に記載の防護被覆。

**【請求項 5 7】**

前記活性炭含有シートが前記微孔質フィルムに不連続のアタッチメントによって取り付けられている、請求項 4 8 ~ 5 6 のいずれか 1 つ に記載の防護被覆。

**【請求項 5 8】**

シェル布帛及び裏当て材料から選択される少なくとも 1 種の追加材料をさらに含む、請求項 4 8 ~ 5 7 のいずれか 1 つ に記載の防護被覆。

**【請求項 5 9】**

前記防護被覆の M V T R が  $2000 \text{ g} / \text{m}^2 / \text{日}$  より大きい、請求項 5 8 に記載の防護被覆。

**【請求項 6 0】**

ディーゼル燃料で汚染した後の 2 C E S 透過量が  $50 \mu \text{g} / \text{cm}^2$  未満である、請求項 5 8 又は 5 9 のいずれか に記載の防護被覆。

**【請求項 6 1】**

皮脂で汚染した後の 2 C E S 透過量が  $20 \mu \text{g} / \text{cm}^2$  未満である、請求項 6 0 に記載の防護被覆。

**【請求項 6 2】**

第 1 及び第 2 の微孔質フィルム、

該微孔質フィルムの中に含まれる機能層、

該第 1 の微孔質フィルムに隣接しかつ該機能層の反対にある少なくとも 1 つの第 1 の追加材料、並びに

該第 2 の微孔質フィルムに隣接しかつ該機能層の反対にある少なくとも 1 つの第 2 の追加材料を含む防護被覆であって、該微孔質フィルムの少なくとも 1 つが疎油性である、空気透過性を有する防護被覆。

**【請求項 6 3】**

前記第 1 及び第 2 の微孔質フィルムの少なくとも 1 つのオイル等級が 4 以上である、請求項 6 2 に記載の防護被覆。

**【請求項 6 4】**

シェル及び裏当て材料から選択される少なくとも 1 つの追加材料の層をさらに含む、請求項 6 2 又は 6 3 のいずれか に記載の防護被覆。

**【請求項 6 5】**

前記微孔質フィルムの少なくとも 1 つが延伸ポリテトラフルオロエチレン ( e P T F E ) を含む、請求項 6 2 ~ 6 4 のいずれか 1 つ に記載の防護被覆。

**【請求項 6 6】**

前記第 1 及び第 2 の微孔質フィルムが e P T F E を含む、請求項 6 2 ~ 6 5 のいずれか 1 つ に記載の防護被覆。

**【請求項 6 7】**

前記第 1 及び第 2 の微孔質フィルムの少なくとも 1 つが、フルオロアクリレート、フッ素化ポリエーテル、フルオロウレタン、フルオロシリコン及び非晶質フルオロポリマーから選択される少なくとも 1 種の材料を含む疎油性被膜を含んでなる、請求項 6 2 ~ 6 6 のいずれか 1 つ に記載の防護被覆。

**【請求項 6 8】**

前記機能層が吸着機能性材料を含む、請求項 6 2 ~ 6 7 のいずれか 1 つ に記載の防護被覆。

**【請求項 6 9】**

前記機能層が活性炭を含む、請求項 6 8 に記載の防護被覆。

**【請求項 7 0】**

前記機能層が、吸着性及び反応性材料から選択される少なくとも 1 種の追加材料をさら

に含む、請求項 6 8 又は 6 9 のいずれかに記載の防護被覆。

【請求項 7 1】

前記機能層が炭素を  $200 \text{ g} / \text{m}^2$  未満含む、請求項 6 9 又は 7 0 のいずれかに記載の防護被覆。

【請求項 7 2】

前記機能層がフォームシートを含む、請求項 6 9 ~ 7 1 のいずれか 1 つに記載の防護被覆。

【請求項 7 3】

前記機能層が編物布地を含む、請求項 6 9 ~ 7 1 のいずれか 1 つに記載の防護被覆。

【請求項 7 4】

前記機能層が前記微孔質フィルムに不連続のアタッチメントによって取り付けられている、請求項 6 2 ~ 7 3 のいずれか 1 つに記載の防護被覆。

【請求項 7 5】

前記機能層が前記微孔質フィルムに接着剤によって取り付けられている、請求項 6 2 ~ 7 4 のいずれか 1 つに記載の防護被覆。

【請求項 7 6】

前記防護被覆のガーレー数が  $120$  秒未満である、請求項 6 2 ~ 7 5 のいずれか 1 つに記載の防護被覆。

【請求項 7 7】

疎油性微孔質フィルムを有する防護被覆面をディーゼル燃料で汚染した後の  $2 \text{ C E S}$  透過量が  $50 \mu \text{ g} / \text{cm}^2$  未満である、請求項 6 2 ~ 7 6 のいずれか 1 つに記載の防護被覆。

【請求項 7 8】

疎油性微孔質フィルムを有する防護被覆面を皮脂で汚染した後の  $2 \text{ C E S}$  透過量が  $20 \mu \text{ g} / \text{cm}^2$  未満である、請求項 7 7 に記載の防護被覆。

【請求項 7 9】

6 回の洗濯 / 乾燥サイクル後の  $2 \text{ C E S}$  透過量が  $20 \mu \text{ g} / \text{cm}^2$  未満である、請求項 6 2 ~ 7 6 のいずれか 1 つに記載の防護被覆。

【請求項 8 0】

疎油性微孔質フィルムを有する防護被覆面をディーゼル燃料で汚染した後の  $2 \text{ C E S}$  透過量が  $20 \mu \text{ g} / \text{cm}^2$  未満である、請求項 6 2 ~ 7 6 のいずれか 1 つに記載の防護被覆。

【請求項 8 1】

水蒸気透過量が  $2000 \text{ g} / \text{m}^2 / \text{日}$  より大きい、請求項 6 2 ~ 8 0 のいずれか 1 つに記載の防護被覆。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0100

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0100】

この結果は、微孔質フィルムを有する構造体は微孔質フィルムのないサンプルと比べて同等の  $M V T R$  を有することを示している。連続通気性ポリマー層を有するサンプルにおいて  $M V T R$  の減少が観察されている。

本発明の態様を以下に示す。

( 1 )

少なくとも 1 つの微孔質フィルム、及び

そこに取り付けられた機能層を含む防護被覆であって、少なくとも 1 つの微孔質フィルムが疎油性である、空気透過性を有する防護被覆。

( 2 )

少なくとも1つの微孔質フィルムが延伸ポリテトラフルオロエチレン ( e P T F E ) を含む、項目1に記載の防護被覆。

( 3 )

少なくとも1つの微孔質フィルムが、フルオロアクリレート、フッ素化ポリエーテル、フルオロウレタン、フルオロシリコン及び非晶質フルオロポリマーから選択される少なくとも1種の材料を含む疎油性被膜を含んでなる、項目1に記載の防護被覆。

( 4 )

前記微孔質 e P T F E フィルムが、フルオロアクリレート、フッ素化ポリエーテル、フルオロウレタン、フルオロシリコン及び非晶質フルオロポリマーから選択される少なくとも1種の材料を含む疎油性被膜を含んでなる、項目2に記載の防護被覆。

( 5 )

少なくとも1つの微孔質フィルムのオイル等級が4以上である、項目1に記載の防護被覆。

( 6 )

少なくとも1つの微孔質フィルムのオイル等級が6以上である、項目1に記載の防護被覆。

( 7 )

前記機能層が前記少なくとも1つの微孔質フィルムに不連続のアタッチメントによって取り付けられている、項目1に記載の防護被覆。

( 8 )

少なくとも1つの微孔質フィルムが前記機能層に不連続の接着剤によって取り付けられている、項目1に記載の防護被覆。

( 9 )

前記機能層が吸着機能性材料を含む、項目1に記載の防護被覆。

( 1 0 )

前記吸着機能性材料が活性炭を含む、項目9に記載の防護被覆。

( 1 1 )

前記機能性材料が、吸着性及び反応性材料から選択される少なくとも1種の他の材料を含む、項目9に記載の防護被覆。

( 1 2 )

前記機能層がさらに活性炭を含む編物布地シートを含んでなる、項目9に記載の防護被覆。

( 1 3 )

前記機能層がさらに活性炭を含む連続気泡フォームを含んでなる、項目9に記載の防護被覆。

( 1 4 )

前記機能層が活性炭を  $200 \text{ g} / \text{m}^2$  未満含む、項目9に記載の防護被覆。

( 1 5 )

前記機能層が活性炭を  $150 \text{ g} / \text{m}^2$  未満含む、項目9に記載の防護被覆。

( 1 6 )

前記機能層が活性炭を  $100 \text{ g} / \text{m}^2$  未満含む、項目9に記載の防護被覆。

( 1 7 )

シェル布帛及び裏当て材料から選択される少なくとも1種の追加材料をさらに含む、項目1に記載の防護被覆。

( 1 8 )

前記防護被覆のガーレー数が120秒未満である、項目1に記載の防護被覆。

( 1 9 )

前記防護被覆の M V T R が  $4000 \text{ g} / \text{m}^2 / \text{日}$  より大きい、項目1に記載の防護被覆。

。

( 2 0 )

前記防護被覆のM V T Rが6 0 0 0 g / m<sup>2</sup> / 日より大きい、項目1に記載の防護被覆。

( 2 1 )

前記防護被覆のM V T Rが2 0 0 0 g / m<sup>2</sup> / 日より大きい、項目17に記載の防護被覆。

( 2 2 )

前記防護被覆のM V T Rが4 0 0 0 g / m<sup>2</sup> / 日より大きい、項目17に記載の防護被覆。

( 2 3 )

前記防護被覆のM V T Rが6 0 0 0 g / m<sup>2</sup> / 日より大きい、項目17に記載の防護被覆。

( 2 4 )

第1及び第2の微孔質フィルム、及び

その間に含まれる活性炭含有シートを含んでなる機能層を含む防護被覆であって、120ガーレー秒未満の空気透過性を有する防護被覆。

( 2 5 )

前記微孔質フィルムの少なくとも1つが延伸ポリテトラフルオロエチレン ( e P T F E ) を含む、項目24に記載の防護被覆。

( 2 6 )

前記活性炭含有シートが少なくとも1つの微孔質フィルムに不連続のアタッチメントによって取り付けられている、項目24に記載の防護被覆。

( 2 7 )

少なくとも1つの微孔質フィルムが前記機能層に不連続の接着剤によって取り付けられている、項目24に記載の防護被覆。

( 2 8 )

前記機能層が、吸着性及び反応性材料から選択される少なくとも1種の他の機能性材料を含む、項目24に記載の防護被覆。

( 2 9 )

前記活性炭含有シートが編物布地シートを含む、項目24に記載の防護被覆。

( 3 0 )

前記活性炭含有シートがフォームを含む、項目24に記載の防護被覆。

( 3 1 )

前記機能層が活性炭を2 0 0 g / m<sup>2</sup>未満含む、項目24に記載の防護被覆。

( 3 2 )

シェル布帛及び裏当て材料から選択される少なくとも1種の追加材料をさらに含む、項目24に記載の防護被覆。

( 3 3 )

水蒸気透過量が4 0 0 0 g / m<sup>2</sup> / 日より大きい、項目24に記載の防護被覆。

( 3 4 )

水蒸気透過量が6 0 0 0 g / m<sup>2</sup> / 日より大きい、項目24に記載の防護被覆。

( 3 5 )

前記機能層が活性炭を1 0 0 g / m<sup>2</sup>未満含む、項目24に記載の防護被覆。

( 3 6 )

第1及び第2の微孔質フィルム、及び

その間に含まれる機能層を含む防護被覆であって、少なくとも1つの微孔質フィルムが疎油性である、空気透過性を有する防護被覆。

( 3 7 )

少なくとも1つの微孔質フィルムが延伸ポリテトラフルオロエチレン ( e P T F E ) を含む、項目36に記載の防護被覆。

( 3 8 )



少なくとも1つの微孔質フィルムが、フルオロアクリレート、フッ素化ポリエーテル、フルオロウレタン、フルオロシリコン及び非晶質フルオロポリマーから選択される少なくとも1種の材料を含む疎油性被膜を含んでなる、項目36に記載の防護被覆。

(39)

少なくとも1つのe P T F Eフィルムが、フルオロアクリレート、フッ素化ポリエーテル、フルオロウレタン、フルオロシリコン及び非晶質フルオロポリマーから選択される少なくとも1種の材料を含む疎油性被膜を含んでなる、項目37に記載の防護被覆。

(40)

少なくとも1つの微孔質フィルムのオイル等級が4以上である、項目36に記載の防護被覆。

(41)

少なくとも1つの微孔質フィルムのオイル等級が6以上である、項目36に記載の防護被覆。

(42)

前記機能層が少なくとも1つの微孔質フィルムに不連続のアタッチメントによって取り付けられている、項目36に記載の防護被覆。

(43)

少なくとも1つの微孔質フィルムが前記機能層に不連続の接着剤によって取り付けられている、項目36に記載の防護被覆。

(44)

前記機能層が吸着機能性材料を含む、項目36に記載の防護被覆。

(45)

前記吸着機能性材料が活性炭を含む、項目44に記載の防護被覆。

(46)

前記機能性材料が、吸着性及び反応性材料から選択される少なくとも1種の他の材料をさらに含む、項目44に記載の防護被覆。

(47)

前記機能層がさらに活性炭を含む編物布地シートを含んでなる、項目36に記載の防護被覆。

(48)

前記機能層がさらに活性炭を含む連続気泡フォームを含んでなる、項目36に記載の防護被覆。

(49)

前記機能層が活性炭を200g/m<sup>2</sup>未満含む、項目45に記載の防護被覆。

(50)

前記機能層が活性炭を150g/m<sup>2</sup>未満含む、項目45に記載の防護被覆。

(51)

前記機能層が活性炭を100g/m<sup>2</sup>未満含む、項目45に記載の防護被覆。

(52)

シェル布帛及び裏当て材料から選択される少なくとも1種の追加材料をさらに含む、項目36に記載の防護被覆。

(53)

前記防護被覆のガーレー数が120秒未満である、項目36に記載の防護被覆。

(54)

前記防護被覆のM V T Rが4000g/m<sup>2</sup>/日より大きい、項目36に記載の防護被覆。

(55)

前記防護被覆のM V T Rが6000g/m<sup>2</sup>/日より大きい、項目36に記載の防護被覆。

(56)

疎油性微孔質フィルムを有する防護被覆面をディーゼル燃料で汚染した後の 2 C E S 透過量が  $50 \mu\text{g} / \text{cm}^2$  未満である、項目 36 に記載の防護被覆。

( 5 7 )

疎油性微孔質フィルムを有する防護被覆面を皮脂で汚染した後の 2 C E S 透過量が  $20 \mu\text{g} / \text{cm}^2$  未満である、項目 36 に記載の防護被覆。

( 5 8 )

6 回の洗濯 / 乾燥サイクル後の 2 C E S 透過量が  $20 \mu\text{g} / \text{cm}^2$  未満である、項目 36 に記載の防護被覆。

( 5 9 )

第 1 及び第 2 の疎油性微孔質フィルム、及び  
その間に含まれる活性炭含有シートを含む防護被覆であって、活性炭を  $200 \text{g} / \text{m}^2$  未満含み、ガーレー数が 120 秒未満の空気透過性を有する防護被覆。

( 6 0 )

前記第 1 及び第 2 の微孔質フィルムが延伸ポリテトラフルオロエチレン ( e P T F E ) を含む、項目 59 に記載の防護被覆。

( 6 1 )

前記活性炭含有シートが前記微孔質フィルムに接着剤で接着されている、項目 59 に記載の防護被覆。

( 6 2 )

少なくとも 1 つの微孔質フィルムのオイル等級が 4 以上である、項目 59 に記載の防護被覆。

( 6 3 )

前記少なくとも 1 つの微孔質フィルムのオイル等級が 6 以上である、項目 59 に記載の防護被覆。

( 6 4 )

前記第 1 及び第 2 の疎油性微孔質フィルムのオイル等級が 4 以上である、項目 59 に記載の防護被覆。

( 6 5 )

前記活性炭含有シートが炭素を  $150 \text{g} / \text{m}^2$  未満含む、項目 59 に記載の防護被覆。

( 6 6 )

前記活性炭含有シートが炭素を  $100 \text{g} / \text{m}^2$  未満含む、項目 59 に記載の防護被覆。

( 6 7 )

前記活性炭含有シートが、吸着性及び反応性材料から選択される少なくとも 1 種の追加材料をさらに含む、項目 59 に記載の防護被覆。

( 6 8 )

前記活性炭含有シートが編物布地を含む、項目 59 に記載の防護被覆。

( 6 9 )

前記活性炭含有シートが連続気泡フォームを含む、項目 59 に記載の防護被覆。

( 7 0 )

前記活性炭含有シートが前記微孔質フィルムに不連続のアタッチメントによって取り付けられている、項目 59 に記載の防護被覆。

( 7 1 )

シェル布帛及び裏当て材料から選択される少なくとも 1 種の追加材料をさらに含む、項目 59 に記載の防護被覆。

( 7 2 )

前記防護被覆の M V T R が  $2000 \text{g} / \text{m}^2 / \text{日}$  より大きい、項目 71 に記載の防護被覆。

( 7 3 )

前記防護被覆の M V T R が  $4000 \text{g} / \text{m}^2 / \text{日}$  より大きい、項目 71 に記載の防護被覆。

( 7 4 )

前記防護被覆の M V T R が  $6000 \text{ g} / \text{m}^2 / \text{日}$  より大きい、項目 7 1 に記載の防護被覆。

( 7 5 )

ディーゼル燃料で汚染した後の 2 C E S 透過量が  $50 \mu \text{g} / \text{cm}^2$  未満である、項目 7 1 に記載の防護被覆。

( 7 6 )

皮脂で汚染した後の 2 C E S 透過量が  $20 \mu \text{g} / \text{cm}^2$  未満である、項目 7 5 に記載の防護被覆。

( 7 7 )

第 1 及び第 2 の微孔質フィルム、

該微孔質フィルムの間に含まれる機能層、

該第 1 の微孔質フィルムに隣接しかつ該機能層の反対にある少なくとも 1 つの第 1 の追加材料、並びに

該第 2 の微孔質フィルムに隣接しかつ該機能層の反対にある少なくとも 1 つの第 2 の追加材料を含む防護被覆であって、該微孔質フィルムの少なくとも 1 つが疎油性である、空気透過性を有する防護被覆。

( 7 8 )

前記第 1 及び第 2 の微孔質フィルムの少なくとも 1 つのオイル等級が 4 以上である、項目 7 7 に記載の防護被覆。

( 7 9 )

前記第 1 及び第 2 の微孔質フィルムの少なくとも 1 つのオイル等級が 6 以上である、項目 7 7 に記載の防護被覆。

( 8 0 )

シェル及び裏当て材料から選択される少なくとも 1 つの追加材料の層をさらに含む、項目 7 7 に記載の防護被覆。

( 8 1 )

前記微孔質フィルムの少なくとも 1 つが延伸ポリテトラフルオロエチレン ( e P T F E ) を含む、項目 7 7 に記載の防護被覆。

( 8 2 )

前記第 1 及び第 2 の微孔質フィルムが e P T F E を含む、項目 7 7 に記載の防護被覆。

( 8 3 )

前記第 1 及び第 2 の微孔質フィルムの少なくとも 1 つが、フルオロアクリレート、フッ素化ポリエーテル、フルオロウレタン、フルオロシリコン及び非晶質フルオロポリマーから選択される少なくとも 1 種の材料を含む疎油性被膜を含んでなる、項目 7 7 に記載の防護被覆。

( 8 4 )

前記機能層が吸着機能性材料を含む、項目 7 7 に記載の防護被覆。

( 8 5 )

前記機能層が活性炭を含む、項目 8 4 に記載の防護被覆。

( 8 6 )

前記機能層が、吸着性及び反応性材料から選択される少なくとも 1 種の追加材料をさらに含む、項目 8 4 に記載の防護被覆。

( 8 7 )

前記機能層が炭素を  $200 \text{ g} / \text{m}^2$  未満含む、項目 8 5 に記載の防護被覆。

( 8 8 )

前記機能層が炭素を  $150 \text{ g} / \text{m}^2$  未満含む、項目 8 5 に記載の防護被覆。

( 8 9 )

前記機能層が炭素を  $100 \text{ g} / \text{m}^2$  未満含む、項目 8 5 に記載の防護被覆。

( 9 0 )

前記機能層がフォームシートを含む、項目 8 5 に記載の防護被覆。

( 9 1 )

前記機能層が編物布地を含む、項目 8 5 に記載の防護被覆。

( 9 2 )

前記機能層が前記微孔質フィルムに不連続のアタッチメントによって取り付けられている、項目 7 7 に記載の防護被覆。

( 9 3 )

前記機能層が前記微孔質フィルムに接着剤によって取り付けられている、項目 7 7 に記載の防護被覆。

( 9 4 )

前記防護被覆のガーレー数が 1 2 0 秒未満である、項目 7 7 に記載の防護被覆。

( 9 5 )

疎油性微孔質フィルムを有する防護被覆面をディーゼル燃料で汚染した後の 2 C E S 透過量が  $50 \mu\text{g} / \text{cm}^2$  未満である、項目 7 7 に記載の防護被覆。

( 9 6 )

疎油性微孔質フィルムを有する防護被覆面を皮脂で汚染した後の 2 C E S 透過量が  $20 \mu\text{g} / \text{cm}^2$  未満である、項目 9 5 に記載の防護被覆。

( 9 7 )

6 回の洗濯 / 乾燥サイクル後の 2 C E S 透過量が  $20 \mu\text{g} / \text{cm}^2$  未満である、項目 7 7 に記載の防護被覆。

( 9 8 )

疎油性微孔質フィルムを有する防護被覆面をディーゼル燃料で汚染した後の 2 C E S 透過量が  $20 \mu\text{g} / \text{cm}^2$  未満である、項目 7 7 に記載の防護被覆。

( 9 9 )

水蒸気透過量が  $2000 \text{g} / \text{m}^2 / \text{日}$  より大きい、項目 7 7 に記載の防護被覆。

( 1 0 0 )

水蒸気透過量が  $4000 \text{g} / \text{m}^2 / \text{日}$  より大きい、項目 7 7 に記載の防護被覆。

( 1 0 1 )

水蒸気透過量が  $6000 \text{g} / \text{m}^2 / \text{日}$  より大きい、項目 7 7 に記載の防護被覆。